

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

校訓 「夢の実現」 学校教育目標 「向学 自立 協働」
 『わかった』『できた』という喜びを味わえ、確かな学力を育成する授業の実践
 「夢や希望を持ち、心豊かに生きる生徒の育成」

＜本年度の学力向上策＞

- 1 「よい授業」4つの因子のうち「児童生徒の活動」を重視した授業実践
 ・授業の中で次のような場面を設定し、生徒の学習活動の充実を図る。

問題の解決に向け、児童生徒が自分一人で考える

問題の解決に向け、友達同士で話合う

児童生徒が、自分の考えや感想を「書く」時間をとる

児童生徒が、自分の考えや感想を発表する

今日の学習のまとめを、児童生徒自身に考えさせる

【積極的に集中して授業に取り組んでいる生徒 70%】

【授業がわかりやすいと感じている生徒 90%】

2 家庭学習の定着

- ・小学校と連携し、発達段階に応じた家庭学習の具体的な取り組み例を示す。
- ・学年の実態に合わせて家庭学習の取り組みを工夫し、生徒の主体的な行動を促す。（「1Pノート」やプリント学習）

【家庭学習に自ら取り組む生徒70%】

【家庭学習をまったく行わない生徒0%】

3 道徳の指導方法の工夫

- ・表現活動において効果的な指導方法を工夫し、生徒の道徳意識を向上させる。
- ・適正な評価のあり方について研究を深め、家庭との連携を図る。

【自分の考えをもつことができる生徒 90%以上】

＜本年度の振り返り＞

- 1 ○授業に集中して取り組んでいる生徒が70%以上、授業が分かりやすいと感じている生徒が90%以上になり、生徒の学習活動が充実してきている。
- 2 ○家庭学習の定着に向けて、小学校での実践を踏まえた家庭学習の具体的な取り組み例を示すことができた。
 ▲家庭学習に自ら取り組む生徒70%の目標は達成できなかった。生徒や家庭への働きかけについて、学校でできることは何か今後研究を深めていきたい。
- 3 ○自分の考えをもつことができる生徒が90%以上であった。表現活動を重視した道徳の公開授業を各学期に1回ずつ年3回実施し、効果的な指導方法について理解を深めることができた。
 ○各学期における評価を実施することができた。適正な評価のあり方について今後も検討しながら研究を深めていく。